

株式会社フォーバル

札幌市の『中小企業DXハンズオン相談支援』を3年連続受託 事業参加の申込受付を開始

～札幌の課題をDX起点で解決し、札幌市中小企業の未来を拓く～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する次世代経営コンサルタント集団の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、北海道札幌市が実施する令和6年度『中小企業DXハンズオン相談支援』を受託し、2024年6月より本事業参加企業の募集を開始いたしました。同事業を令和4年度から3年連続受託となるフォーバルは、札幌市内の中小企業の経営DX化を促進してまいります。



SAPPORO × 一般財団法人 さっぽろ産業振興財団 × FORVAL

『中小企業DXハンズオン相談支援』受託の背景と目的

近年、デジタル技術の進展により、中小企業においてもビジネスモデルの変革や業務効率化の必要性が高まっています。札幌市内の中小企業も例外ではなく、DXの推進が急務となっています。しかし、多くの中小企業はDXへの必要性を感じつつも始め方に悩む企業が存在しています。

その中で、全国の中小・小規模企業約47,000社に対してDXの伴走支援を行うフォーバルは、令和4年度および5年度において、本事業を受託し、札幌市内の中小企業累計60社に対して経営状態の可視化と専門家による伴走支援を通じて、経営のデジタル変革（DX）を行い、このたび、前年度の取り組みが評価され、3年連続の受託に至りました。

本事業でフォーバルは、デジタルを活用したビジネス変革の推進を目的として、中小企業の課題把握や課題の分析、そして解決策として適切な戦略・推進体制の整備等を目的とした伴走型相談支援を実施し、企業が円滑にDXを進められるようサポートしてまいります。

『中小企業DXハンズオン相談支援』とは

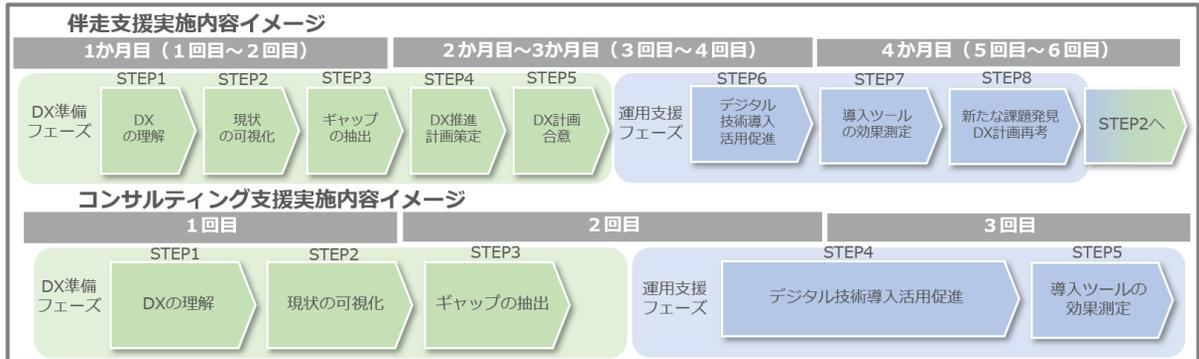
札幌市内中小企業の皆さまにDXの必要性をご理解いただき、自社の課題把握や事業戦略の推進体制整備、社内におけるDX推進人材の育成などをワンストップでサポートいたします。そのほか、市内中小企業におけるDXのモデルケース創出に向けた助成金や、DXについて考える場として事例紹介やワークショップの開催を予定しています。

さっぽろ中小企業DXポータル：<https://sapporo-dx-portal.jp/>

主な取り組み内容

本支援事業の具体的な取り組みは以下のとおりです。

- (1)DX相談窓口の設置
- (2)キックオフセミナーの開催
- (3)DXアドバイザーによる伴走型相談支援、またはコンサルティング支援
- (4)定期的な業務進捗の報告
- (5)当財団が主催するDX推進セミナーの事例発表の協力
- (6)DX事例集の作成



株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走型で支援する次世代経営コンサルタント集団であるフォーバル（資本金：41億5000万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって持続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 將典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>